

FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。



9月13日に北海道白糠町の茶路めん羊牧場で開催された羊のAI(人工授精)講習会に十和田農場から職員2名が参加してきました。牛や豚に対して人工授精の受胎率が低い羊は、自然交配が一般的です。しかし優秀な遺伝子を増やしたり、季節繁殖である羊の季節外繁殖が可能になるAI技術は、今後の羊の生産にとって必須の技術です。羊のAIの第一人者で、北海道においての羊の生産を薦めている福井先生と河野先生を講師に迎えた、ラPAI(子宮内人工授精)の実技講習を受けました。今後は、十和田農場で飼養している羊の希少種、マンクス・ロフタン種にもラPAIを実施し、希少種の保護に取り組む予定です。また、この技術を応用し、様々な品種の導入も考えています。

羊のAI講習会に参加しました。

動物とのふれあいを楽しみました。

左:さつき幼稚園 右上:法奥小学校 右下:甲東中学校



十和田農場では毎年たくさんの場内見学や体験学習を受け入れています。特に小さな子供たちが動物とのふれあいに訪れると、元気な声で様々な反応を見せてくれて、私たちの方が楽しませてもらっています。平気で自分の背丈ほどのヤギに草をあげたり、自分の体の何倍もある牛の近くに寄り添ったりできる子もいれば、「こわい〜」といって遠くの方から眺める子もいて、毎年楽しく過ごしています。地域の中学校からは職場体験学習として、農場での仕事を体験しに訪れてます。

今号のどうぶつ紹介



羊 マンクス・ロフタン種
万太郎くん

原産国のイギリスでは、絶滅の危険度が高い希少種に指定され、保護下にあります。日本には1990年に20頭が導入され、その子孫の万太郎くんは2011年に十和田農場にやってきました。マンクス・ロフタン種は角が2~6本生えますが、万太郎くんの角は特に特徴的な形をしています。

次号の予定 と 編集後記

10月初め デントコーン収穫
10月上旬 羊交配開始
10/14,15 紅葉祭
10/18 マンクス・ロフタン種AI
12月中 十和田農場忘年会
北海道白糠町、遠かったです。宿泊は釧路市でしたが、とても大きな街でびっくりしました。そしてタンチョウに遭遇。さすが北海道！鶴の大きさにもびっくり！

